

大地震を想定したシェイクアウト訓練、火災避難訓練を行いました。

(令和3年7月21日)

利用者の皆様は自力避難が困難な方が多く、利用者の安全確保や避難誘導は職員の重要な任務です。職員がいざという時にどのような行動をとるべきか訓練により事前に想定しておくことが大切です。このことを念頭に、令和3年7月21日午後次の訓練を実施しました。

1 「シェイクアウト訓練」

緊急地震速報受信後、大規模地震を想定し利用者の安全確保のためにはどうすべきかを考え、一部利用者に姿勢をとってもらいました

2 火災避難訓練

- ① デイサービス利用者・ケアハウス入所者を建物外への避難誘導
- ② 被害状況・避難状況の報告
- ③ 避難誘導班・通報連絡班等役割分担の職員間での確認
- ④ 消火器・消火栓等の位置や設備確認

3 初期消火訓練

職員が玄関先で訓練用消火器を使用して消火訓練を体験

4 災害用備蓄品の保管確認

新たな配備品を各職場で分散備蓄するため各々の倉庫に整理保管

